

令和4年8月17日臨時部長会議 会議録（要旨）

- ◇日 時 令和4年8月17日（水） 午前8時35分から午前9時50分まで
- ◇場 所 市役所第一庁舎5階 庁議室（WEB会議）
- ◇出席者 市長、西澤副市長、松山副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、新産業創造推進局長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、及び関係課職員

◇会議内容

1 協議

（1）令和4年9月市議会定例会提出議案について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料1参照）

○質疑

〔西澤副市長〕議案第63号について、コンビニでマイナンバーカードを使い印鑑証明書や住民票を取得した場合、50円値引きする改正はよいが、この条例改正の目的が、マイナンバーカード取得促進であるため、このようなメリットを十分周知し、マイナンバーカードの取得に結び付く取組についてさらにお願する。

〔地域・市民生活部長〕マイナンバーカードを使い住民票等を取得した場合、コンビニ交付では50円安くなる。様々な手段を使い取得促進を進めているが、制度を十分周知し、カードの取得促進につなげていきたい。

○今後の方向性

原案を了承

（2）令和4年度9月補正予算(案)について（財政部）

標記事項について、財政部長から説明した。（資料2参照）

○質疑

〔総務部長〕「ながの子育て世帯臨時特別給付金」など給付事業について、できれば電子申請、マイナンバーカードを使っていただくような申請にできるだけ早く切り換えていきたい。今後、行政DX推進課でも、各部署と話をさせていただくようにしたいので、各部局の方でも検討いただけるとありがたい。

この他、福祉政策課の助成事業等もある。各部局から相談いただければ対応を進めたい。

〔こども未来部長〕今回の給付金については、電子申請を含め行政DX推進課とも協議している。

○今後の方向性

原案を了承

（3）「長野市パートナーシップ宣誓制度の基本方針」（案）に対する市民意見等の募集結果及び方針（案）の決定について（地域・市民生活部）

標記事項について、地域・市民生活部長から説明した。（資料3参照）

○質疑

〔議会事務局〕基本方針をパブコメでまとめていただいているが、「性的少数者の方の生きやすさの選択肢を増やすため」との表現になっている。この「生きやすさの選択肢を増やす」ことについて、サービスだけを増やすのか意味合いを教えてください。

〔地域・市民生活部長〕一つは、新しいサービスを提供しその制度を利用していただく。もう一つは、そのサービ

スの創設を含め、相乗効果により性的少数者の理解が広がり、より生きやすくなっていくことの意味である。生きづらさという表現がマイナスにとられるとの意見を踏まえ、制度や理解がより広がる表現としている。

〔議会事務局長〕制度を増やしていくよりも、市が2人の思いや存在を尊重して認めていくという、市のスタンスを明示することで、対象の方々にとっても大きな制度になると思う。

「生きやすさの選択肢を増やす」という表現だと、制度だけを増やしているのだからいいと捉えられる。市が認めていくというスタンスを、もう少し強く押し出す必要があるのではないかと思う。

松本市などでは、2人の宣誓を市が受けとめることで、生きづらさや悩みが少しでも解消するということが表現しているが、そういった表現が必要ではないか。

〔こども未来部長〕資料5、6ページに指摘の内容がしっかりまとめて書かれている。その部分を、市の基本的な考えとして、基本方針の中に付け加えれば内容が具体的に市民の皆さんにも伝わっていくと感じる。

〔地域・市民生活部長〕今の意見を踏まえ、趣旨のところの表現を検討させていただく。

〔議会事務局長〕もう1点、基本方針5で、「市の裁量の範囲において行政サービスを提供していく」とのことで、この宣誓制度が、市の行政サービスに特化されていると思うが、その下に「民間のサービスの例」が記載されている。民間サービスを取り入れていくのであれば、それを明確化していくのがよいと思う。「市の裁量の範囲において行政サービス」だけを考えていくのか、民間サービスを入れるのであれば、そのサービスの拡大の検討を進める内容を入れたらいかか。

〔地域・市民生活部長〕基本方針5について、「市の裁量の範囲において行政サービスを提供していきます」が全てにかかるように読めるため、表現を改めて考える。

今後、部長会議にかける際には、行政サービスはこういうもの、というものをしっかり示し、民間サービスについては、書き方を検討し、書ける部分は書き込む。

〔保健所長〕今の話は、重要な点だと思う。

「選択肢を増やす」という書き方は、限定的な話に捉えられてしまうことが考えられる。しかも選択肢を増やすとは、今はどれぐらいの選択肢があり、これによってどれぐらいの選択肢が増えるのかという話になるため、選択肢という言葉は使わず、2人のことを、市としてもバックアップすることを前面に書いた方がわかりやすく伝わると思う。

「市の裁量において」については、我々としては市の裁量のある限り、できるだけサービスを提供するという意味で書いていると思うが、受け取る側は「市の裁量」というと、市が限定し少な目の方にするのではないかと受けとめられる言葉でもある。そのため、このような言葉は使わずに、行政サービスを例示するとわかりやすい。当事者が見ると、市は後ろ向きであると受け取られてしまう恐れがあるため、よく吟味するのがよい。

〔企画政策部長〕基本方針案について、長野市の姿勢が、もう少し出るようにすること。

受けるサービスについては、今の議論に沿って修正を検討いただくことで了承とする。

○今後の方向性

原案を了承

（４）産業用地開発に伴う長野地域基本計画の変更等について（商工観光部）

標記事項について、商工観光部長から説明した。（資料4参照）

○質疑

〔西澤副市長〕重点促進区域の位置付けについて、赤線の中を重点促進区域に設定することだが、今回の開発予定区域を今後さらに広げるという意味合いか。

〔商工観光部長〕重点促進区域については、「字」単位での指定となるため赤線の部分となる。

将来的な開発については断言できないが、現在のところ、青の区域を開発する計画としている。

○今後の方向性

原案を了承

(5) 鬼無里地区の厚生住宅の譲渡について (建設部)

標記事項について、建設部長から説明した。(資料5参照)

○質疑なし

○今後の方向性

原案を了承

3 その他

(1) 農業及び農村の状況並びに農業及び農村の振興に関する施策の実施状況について (農林部)

標記事項について、農林部長から説明した。(資料6参照)

○質疑なし

(2) 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価報告書 (令和3年度分) について
(教育委員会)

標記事項について、教育次長から説明した。(資料7参照)

○質疑なし

<市長から>

- ・「長野市パートナーシップ宣誓制度の基本方針」は、本年中の導入を目指し、まとめていただいた。
- ・本市がどのように取り組むかを示し、誰もが生きやすい、誰もがその尊厳を持って生きていることが尊重される社会をつくっていくということを前面に出していきたい。会議での意見を反映し進めるように。